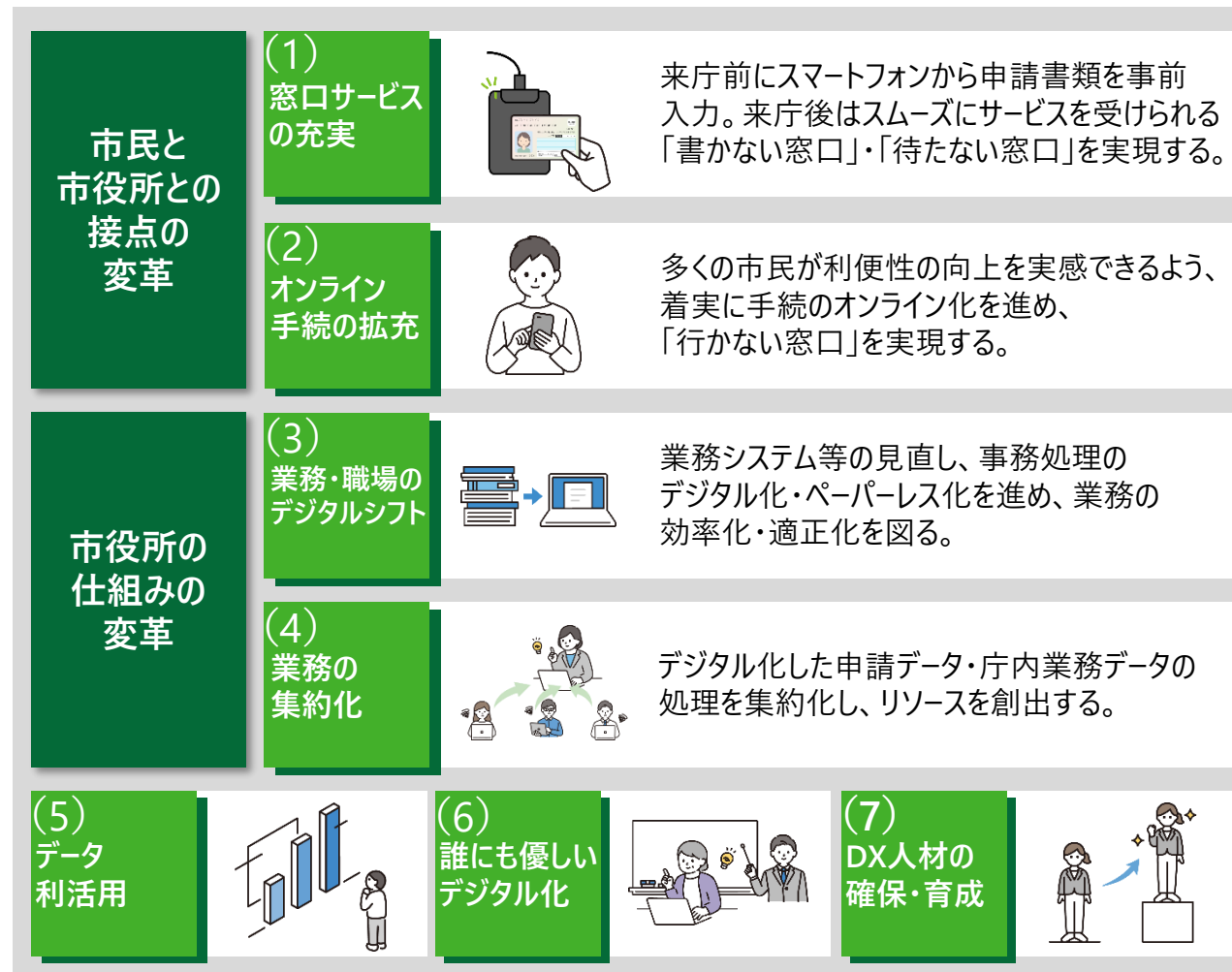


- ・「仙台市DX推進計画2024-2026では、令和6年度から8年度を、「Full Digitalの市役所」の基盤を整備する集中改革期間とし、7つの重点取組事項を掲げています。
- ・これらの施策を中心に、令和6年度の計画の実績をご報告します。

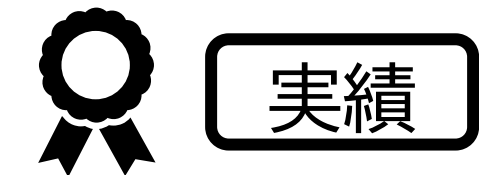




目標

窓口サービスの充実

- システムを活用した申請書等の記入負担の軽減、並びに窓口業務の効率化による手続き時間の短縮等により、**「書かない窓口」・「待たない窓口」を実現**します。



実績

- 令和5年度に導入した「申請書セルフ作成支援システム」の**端末を増設**し、**申請内容の事前入力機能を追加**したほか、「市・県民税課税(非課税)証明申請」等にも対応するなど、**対象手続きを拡大(5→25)**しました。
- 現金・キャッシュレス決済一体型のセミセルフレジを導入したことにより、**キャッシュレス決済の利用率(平均)**が導入前後で**10ポイント(13%→23%)向上**しました。



事前入力機能の追加
(申請書セルフ作成支援システム)



セミセルフレジの導入

オンライン手続の拡充



目標

- 多くの市民がデジタル化の効果を実感できるよう、本市における**年間総受付件数のおよそ9割を占める上位100手続について、令和8年度末までにオンライン化**することを目指します。



実績

- 令和6年度は、新たに**8手続がオンライン化され**、100手続中累計で45手続のオンライン化が完了しました。
- 残る55手続**について、令和6年度に手続ごとに作成した計画書に基づき、引き続きオンライン化に向けた取り組みを進めます。

カテゴリ	手続名
介護保険関係手続	要介護(要支援)認定・要介護(要支援)更新認定・要介護(要支援)区分変更申請
	高額介護(予防)サービス費支給申請
	居宅サービス計画作成(変更)依頼届出
	介護予防サービス計画作成・介護予防ケアマネジメント依頼(変更)届出
	負担限度額認定申請
障害者福祉関係手続	障害者交通費助成の申請
	日常生活用具費支給の申請
こども関係手続	保育施設等利用申込書の提出

令和6年度にオンライン化が完了した手続



目標

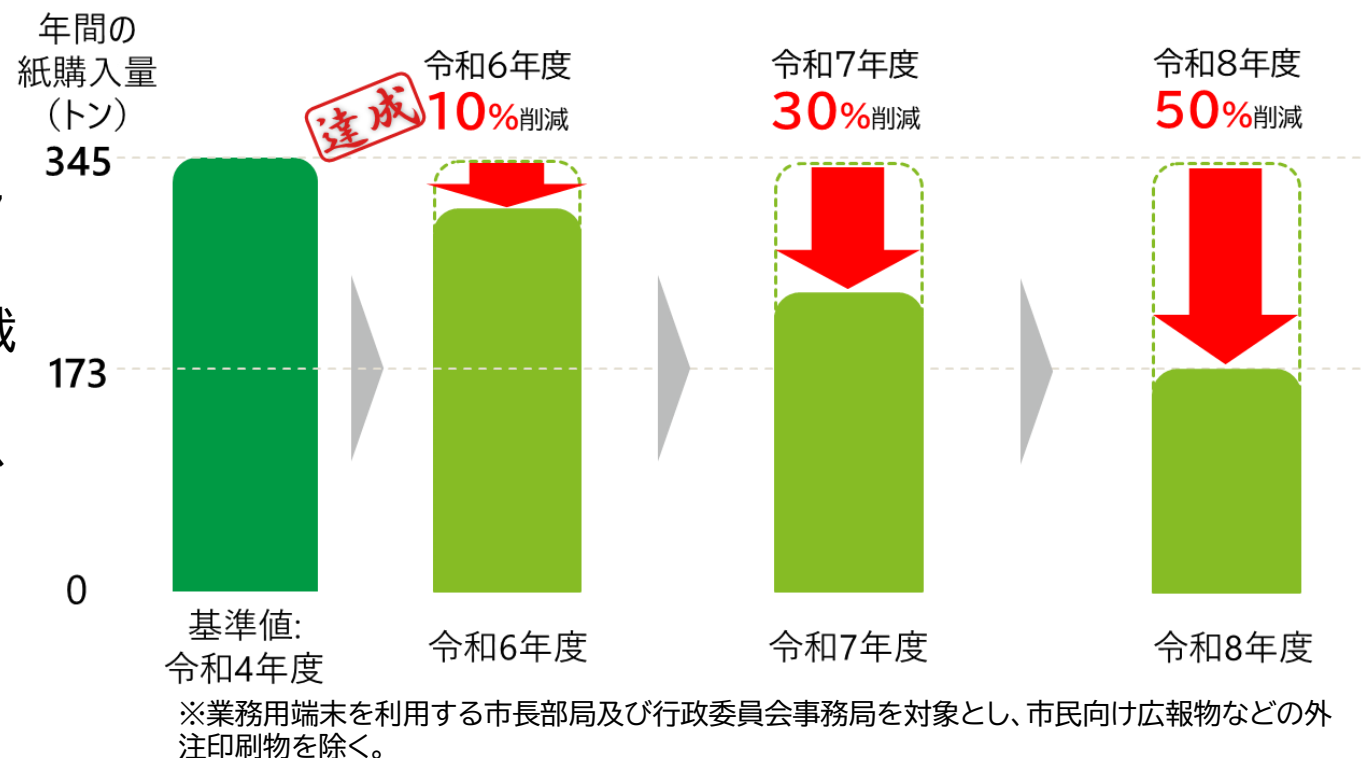
業務・職場のデジタルシフト

- ・業務・職場のデジタルシフトにより令和8年度までに印刷用紙の**購入量を50%削減**(令和4年度比)し、柔軟で効率の高い業務環境づくりを目指します。
- ・「紙が前提」となりがちな従来型の働き方を、ペーパーレス化を起点として見直すことにより、柔軟で効率の高い業務環境づくりを進めます。



実績

- ・50%の削減に向け、令和6年度に10%、令和7年度に30%と段階的に削減することとし、令和6年度においては、これまで紙で行っていた決裁文書について電子決裁を原則とする取組みや、ペーパーレス会議を推進する取組みなどにより、**10%の削減を達成**しました。





目標

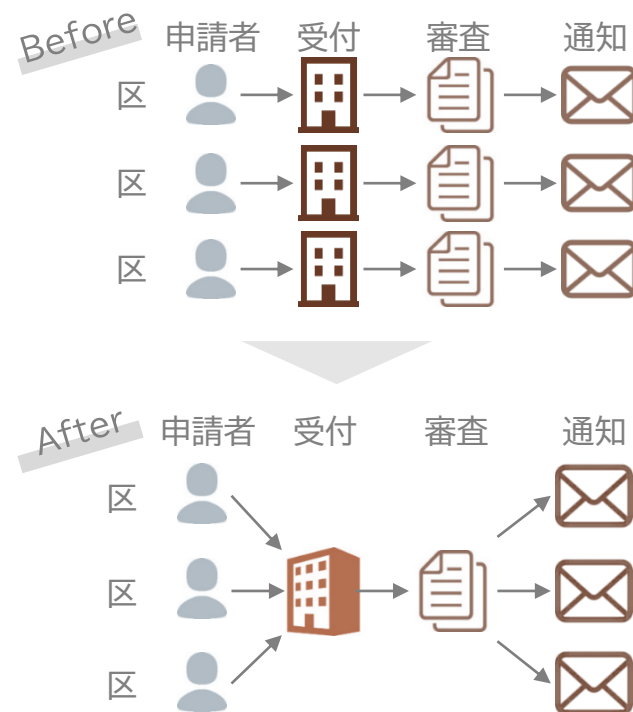
- ・オンラインで受け付けた申請等の処理や庁内業務データの処理等の業務を集約化して活用可能なリソースを生み出し、市民サービスの充実や新たな社会課題への対応に振り向けます。



実績

- ・障害福祉事務センター（担当：健康福祉局）
従来、区役所・総合支所で処理を行っていた指定難病医療費助成等の事務を集約し、令和7年2月から障害福祉事務センターでの処理を開始しました。
- ・郵送事務センター（担当：市民局）
郵送により受付・発行を行っている各種証明書のうち、戸籍と住民票の写しについて、令和7年2月からオンラインでの申請受付を開始しました。
- ・総務事務センター（担当：総務局）
人事給与業務等の総務事務について、各任命権者の事務の集約を目的とした総務事務センターの設置に向けて、具体的な検討を進めました。

<事務集約の一例>





目標

データ利活用

- ・スマートシティの実現を目指し、デジタル技術の導入により新たに取得されるデータや既存のデータを産学官が横断的に利活用することで、市民サービスの充実化に取り組みます。
- ・本市が保有するデータを可能な範囲でオープンデータ化し、民間事業者等による新たなサービスの創出を促進するため、**令和8年度までにオープンデータとして登録する件数を735件**に増やします*。*仙台市役所経営プランに基づく目標設定

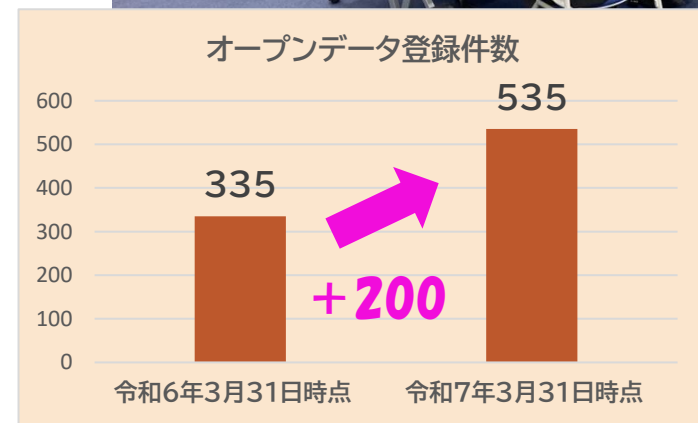


実績

ワークショップの様子
(令和6年12月)



- ・データ連携基盤の活用を促進するため、「**DATA SENDAI プラットフォーム**」を創設し、アイデア創出のワークショップを開催したほか、浸水センサーデータを活用した災害対策技術の実証など、民間事業者によるユースケース創出等に取り組みました。
- ・オープンデータについて、マニュアルの作成や継続的な周知啓発を行ったほか、研修会やデータ作成支援等を通じて環境測定データや航空写真など**計200件**を追加登録し、**計535件**(令和7年3月31日時点)となりました。

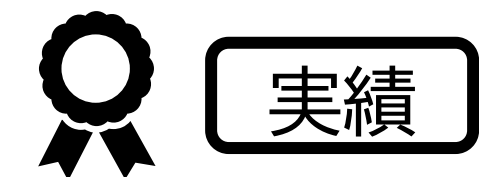




目標

誰にも優しいデジタル化

- ・デジタルになじみの薄い方を対象に、民間事業者・団体等と連携し、デジタル機器やサービスの利用方法に関する助言・相談などの支援に取り組みます。



実績

- ・通信事業者等と連携したスマートフォン教室に取り組みました。また、令和6年6月に「杜の都スマホ相談室」を各区役所等に開設し、スマートフォンの操作支援や本市のデジタルサービスの普及啓発にも取り組みました。

- ・通信事業者各店舗でのスマートフォン教室

24,427人参加

- ・市民センター等でのスマートフォン教室

301人参加

- ・杜の都スマホ相談室

868人参加



スマートフォン教室の様子



杜の都スマホ相談室の様子



目標

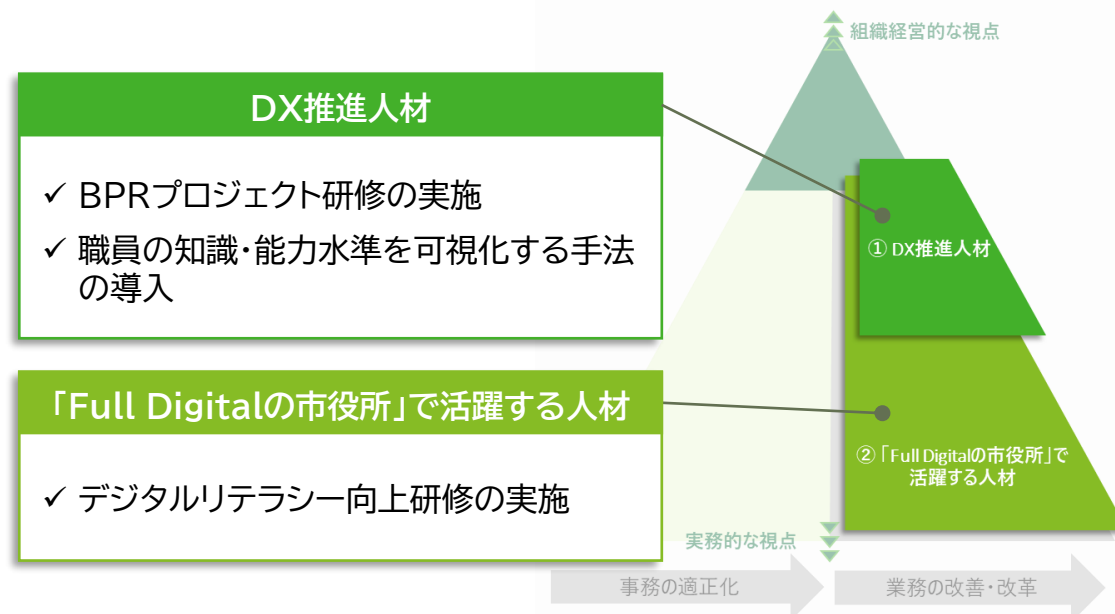
DX人材の確保・育成

- ・DXの知見を有する人材の採用や職員の育成等を組み合わせて、DX推進に必要な人材を確保します。
- ・デジタル技術を活用して業務改革ができるDX推進人材の育成のため、**令和8年度までにBPRプロジェクト研修を120名以上に実施**します。
- ・変革後の市役所を担う「Full Digitalの市役所」で活躍する人材の育成のため、**令和8年度までにデジタルリテラシー向上研修を1,200名以上に実施**します。
- ・職員の知識・能力の水準を可視化する手法を取り入れ、DX推進人材を計画的・組織的に育成します。



実績

- ・DXの知見を有する人材を確保するため、社会人経験者採用試験の試験区分に**「情報職」を新設**しました。
- ・BPRプロジェクト研修を**37名**、デジタルリテラシー向上研修を**517名に実施**しました。



仙台市デジタル改善目安箱 サジェストセンダイ



概要

- 重点取組事項である「市民と市役所との接点の変革」の実行にあたり、**利用者の目線に立ったサービス**をデザインしてDXを推進していくため、「仙台市デジタル改善目安箱 サジェストセンダイ」を開設しました。
- 利用者のみなさまから行政手続きやサービスについて不便に感じたこと、改善が必要な部分へのご意見をいただき、その回答も公開した上で、DX施策の検討や実施に活かしていきます。

「サジェストセンダイ」への投稿はこちら→



実績

- 令和7年3月末までに**247件**のご意見をいただき、**市政だよりへの二次元コード掲載**などの改善を実施しました。

利用者からのご意見

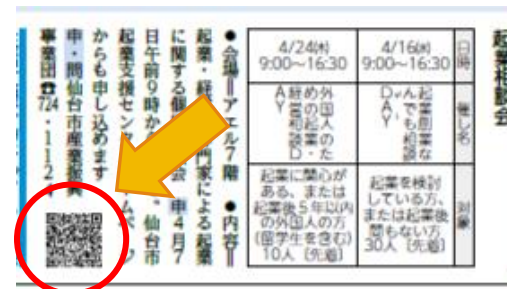
掲載されている情報に
スマホから**直接アクセス**
できない

担当課での対応

令和7年4月号から
お知らせページへの
二次元コードを掲載

改善結果

スマホ等の機器から
直接遷移できるように

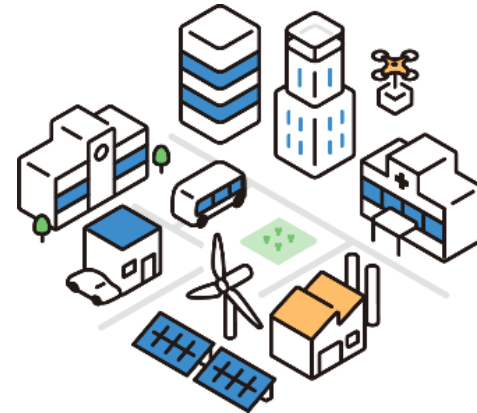


改善例: 市政だよりへの二次元コードの掲載

重点取組事項以外の事業について

「仙台市DX推進計画2024-2026」では、技術の進展や国によるDXの動向を踏まえながら、掲載外の事項についても柔軟に取り組むこととしています。

ここからは、重点取組事項以外の取組の中から、市民の皆様の暮らしに関わりのある取組実績をご紹介します。



町内会デジタル化推進事業

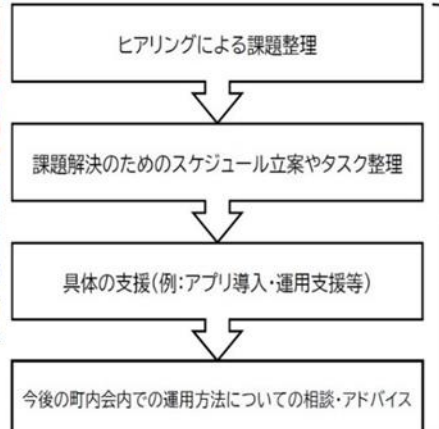
町内会におけるデジタル技術の活用による運営の効率化、課題解決を推進するため、25の町内会に専門家を派遣し、伴走型支援を行うとともに、参加団体による事例発表会を実施し取り組みの横展開を図りました。

- 会員への情報共有に課題を持つ町内会に対し、「公式LINE」の作成や「Googleドライブ」の導入を支援しました。
- 町内会費の徴収に課題を持つ町内会に対し、「会費ペイ」の試行導入を支援しました。

伴走型支援イメージ



アドバイザーによる支援の様子



1町内会あたり
最大5回の
支援想定

学校納付金収納管理サービス

市立小・中学校で学校納付金をWEBにてお支払いいただけるサービス「スクペイ」を導入しました。(令和7年4月利用開始)

- 学校から請求通知をメールにてお送りします。
- いつもお使いの銀行口座による即時のお支払いやコンビニでのお支払いが可能です。
- いつでもお手元の端末で支払い履歴をご確認いただけます。



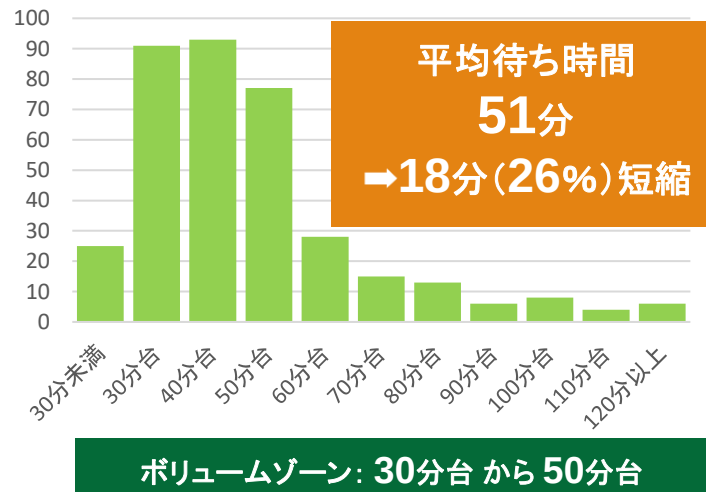
外国人国外転入特設窓口

- 外国人の転入手続きの時間短縮や、デジタルツールを活用した負担軽減を図るため、秋と春の転入シーズンに合わせ、青葉区役所に特設窓口を臨時開設しました。
- 秋の開設時の平均待ち時間は 51分 となり、通常窓口よりも 18分(26%) 短縮できました。



受付の様子

待ち時間分布(秋の特設窓口)



転院調整システム

- 電話やFAXで個別にやり取りされ、調整に時間を要していた病院間の転院の調整に、職員がノーコードツールで作成したアプリ、「転院調整システム」を導入し、転院調整を円滑化しました。
- モデル事業としてシステムを稼働した令和6年9月～令和7年3月までの間、333名の患者について当システムを活用して転院先が決定。参加病院へのアンケート調査の結果、全体の約9割が事業を前向きに評価しました。
- 令和7年10月から本事業の本格実施を予定しており、引き続き本システムの改善および活用促進を行ってまいります。

転院先の支援病院の選択肢が増えたり、救急患者の在院日数の短縮、患者数増などのメリット

kintoneで作成した転院調整システムを使用し、簡易な情報のみで、複数医療機関へ転院オファーが可能



④救急受入病院
※救急患者を積極的に受け入れる病院

円滑な転院

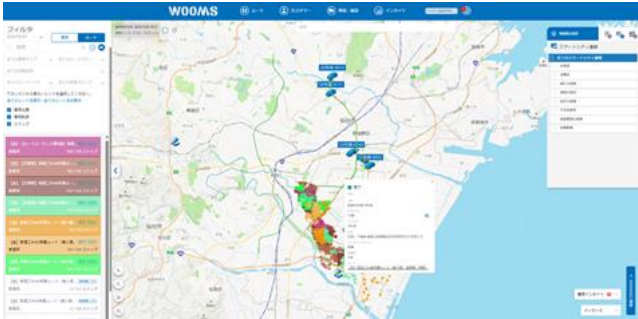
⑤支援病院
※④での専門的治療を終了した患者を受け入れる病院

家庭ごみ収集運搬ルート最適化実証事業

- ・ 若林区にて、民間事業者が提供する運行管理システムを利用して、家庭ごみ収集の効率化を図るとともに、収集に付随する報告書作成業務の自動化により、作業員の負担軽減を図りました。
- ・ 可視化された状況を踏まえた相互の収集サポートにより、平均運搬回数0.6回/日が縮減されました。
- ・ 令和7年度は、実施地域を全市に拡大し、収集品目にプラスチック資源を加え、実証を行っています。持続可能な生活ごみの収集運搬を目指し、取組を継続します。



タブレット車載の様子



管理用システムの画面

母子健康手帳交付のオンライン予約

各区家庭健康課・総合支所保健福祉課の窓口で行っている母子健康手帳の交付について、「せんだいオンライン申請サービス」を利用し、オンライン予約と問診票のWeb入力を導入しました。(令和7年4月1日利用開始)

市民	・ 予約状況が分かるため、窓口での待ち時間が削減 ・ 問診票の事前入力により、窓口での手続き時間が減少
職員	・ 来庁者情報や問診票の入力結果が事前にわかるため、窓口対応の準備が可能に

(市民側画面のイメージ)

面談希望日(泉区家庭健康課) 必須

2025-08-28

面談希望時間(泉区家庭健康課) 必須

09時00分 残:2

10時00分 残:2

11時00分 残:2

13時10分 残:1

14時00分

15時00分

枠の残数表示も可能

予約が埋まっていると選択できない

(職員側画面のイメージ)

受付番号
CX00000238

回答日時
2025/03/17 11:48:41

申請者の情報を入力してください

氏名
伊達 政宗

氏名フリガナ
イダ マサムネ

希望日
2025年3月17日

希望時間
10:00

予約者の情報や問診票の内容を事前に把握可能